

令和7年度沖縄県離島航空路確保維持計画(案)

1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

【目的】

本県の離島航空路のうち、宮古ー多良間、那覇ー与那国、那覇ー久米島、那覇ー北大東、那覇ー南大東、路線を離島航空路確保維持計画の対象路線とし、離島住民の生活を支える重要な輸送手段を確保・維持するため、離島航空路に係る地域公共交通確保維持改善事業を実施する。

【必要性】

上記路線は、各離島間を結ぶ重要な路線であり、離島住民の日常生活に欠かせない生活路線となっているほか、観光客の移動手段としても利用されている。

しかし、当該路線を運航する航空会社においては、燃料高騰や為替の影響等により、令和7年度は、当該路線が不採算となることが予想されている。

このような状況が続くと路線維持が困難となり、島民の生活上必要な移動手段のみならず、観光産業等の地域振興にも影響を与えかねない状況となるため、路線維持のための措置を講ずる必要がある。

【補助対象路線の旅客実績及び見込】

対象路線	令和4年度(実績)			令和5年度(実績)			令和6年度(見込)		
	提供座席	旅客実績	搭乗率	提供座席	旅客見込	搭乗率	提供座席	旅客見込	搭乗率
宮古ー多良間路線 (RAC)	68,150	38,550	56.6%	70,850	44,229	62.4%	71,700	42,931	59.9%
那覇ー与那国路線 (RAC)	47,450	27,538	58.0%	53,500	35,247	65.9%	53,750	33,149	61.7%
那覇ー久米島路線 (RAC)	208,900	143,434	68.7%	203,050	152,410	75.1%	170,500	134,476	78.9%
那覇ー久米島路線 (JTA)	105,930	46,704	44.1%	124,740	54,972	44.1%	124,080	73,002	58.8%
那覇ー北大東路線 (RAC)	17,950	13,152	73.3%	18,000	14,256	79.2%	29,650	18,841	63.5%
那覇ー南大東路線 (RAC)	52,750	31,239	59.2%	52,750	34,770	65.9%	64,250	36,434	56.7%

【補助対象路線における離島住民の割合】

対象路線	令和3年度(実績)			令和4年度(実績)			令和5年度(実績)		
	旅客総数	離島住民	割合	旅客総数	離島住民	割合	旅客総数	離島住民	割合
宮古ー多良間路線 (RAC)	27,869	11,737	42.1%	38,550	16,436	42.6%	44,229	18,152	41.0%
那覇ー与那国路線 (RAC)	18,243	4,270	23.4%	27,538	6,227	22.6%	35,247	7,399	21.0%
那覇ー久米島路線 (RAC)	112,465	46,506	41.4%	143,434	56,056	39.1%	152,410	61,235	40.2%
那覇ー久米島路線 (JTA)	22,659	8,103	35.8%	46,704	13,679	29.3%	54,972	17,768	32.3%
那覇ー北大東路線 (RAC)	13,255	4,723	35.6%	13,152	5,667	43.1%	14,256	8,805	61.8%
那覇ー南大東路線 (RAC)	27,864	10,057	36.1%	31,239	12,504	40.0%	34,770	17,936	51.6%

沖縄県では、平成24年4月から、離島住民の割高な移動コストを低減し、住み慣れた島で安心して暮らし続けることができるよう定住条件の整備を図り、離島地域の活力の維持向上を図ることを目的に、離島住民等の航空運賃を約4～6割低減する「沖縄離島住民等交通コスト負担軽減事業」を実施している。

また、中・小規模離島においては、地域の活性化を図るため、特例的に観光客等の交流人口の航空運賃についても約3割低減を行っている。

【沖縄離島住民等交通コスト負担軽減事業適用後の離島割運賃(大人/通常期)額】

対象路線	離島住民向け運賃(円)			
	従来運賃	低減後運賃	低減額	低減割合
宮古—多良間路線(RAC)	8,450	3,600	4,850	57.4%
那覇—与那国路線(RAC)	32,350	13,550	18,800	58.1%
那覇—久米島路線(RAC)	12,250	5,200	7,050	57.6%
那覇—久米島路線(JTA)	12,250	5,200	7,050	57.6%
那覇—北大東路線(RAC)	24,200	10,200	14,000	57.9%
那覇—南大東路線(RAC)	24,200	10,200	14,000	57.9%

※R6年11月22日現在

2. 地域公共交通確保維持事業に係る定量的な目標・効果

【目標】

下記の各離島路線の維持により、当該離島住民及び観光客等の移動手段を確保することとし、当該路線の輸送量等について、下記のとおり目標を設定する。

対象路線	令和7年4月1日～令和8年3月31日				
	提供座席数(席)	運航回数(回)	旅客輸送量(人)	搭乗率	貨物輸送量(kg)
宮古—多良間路線(RAC)	70,650	1,413	44,164	62.5%	290,656
那覇—与那国路線(RAC)	70,900	1,418	44,388	62.6%	382,277
那覇—久米島路線(RAC)	168,200	3,364	136,231	81.0%	1,037,488
那覇—久米島路線(JTA)	120,120	728	52,450	43.7%	188,047
那覇—北大東路線(RAC)	34,950	699	22,596	64.7%	215,085
那覇—南大東路線(RAC)	69,800	1,396	43,762	62.7%	348,550
合計	534,620	9,018	343,591	64.3%	2,462,103

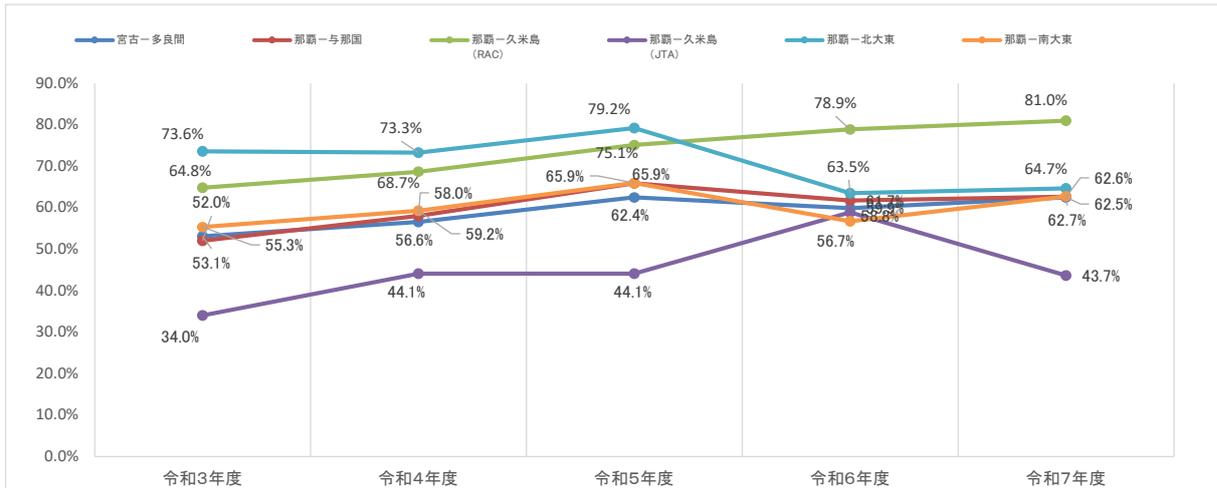
【旅客数推移(令和6年度及び令和7年度は見込み)】

単位: 人



	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
宮古—多良間	27,869	38,550	44,229	42,931	44,164
那覇—与那国	18,243	27,538	35,247	33,149	44,388
那覇—久米島(RAC)	112,465	143,434	152,410	134,476	136,231
那覇—久米島(JTA)	22,659	46,704	54,972	73,002	52,450
那覇—北大東	13,255	13,152	14,256	18,841	22,596
那覇—南大東	27,864	31,239	34,770	36,434	43,762

【搭乗率推移(令和6年度及び令和7年度は見込み)】



	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
宮古-多良間	53.1%	56.6%	62.4%	59.9%	62.5%
那覇-与那国	52.0%	58.0%	65.9%	61.7%	62.6%
那覇-久米島 (RAC)	64.8%	68.7%	75.1%	78.9%	81.0%
那覇-久米島 (JTA)	34.0%	44.1%	44.1%	58.8%	43.7%
那覇-北大東	73.6%	73.3%	79.2%	63.5%	64.7%
那覇-南大東	55.3%	59.2%	65.9%	56.7%	62.7%

【効果】

地域公共交通確保維持改善事業を実施することにより、対象航空路が就航する離島の住民及び観光客等の足を確保し、離島住民の生活の安定や産業振興等を図ることができる。

また、運航事業者の運航により生じる損失を補填することにより、代替性のない離島航空路線が不採算により廃止されることを回避することができる。

3. 地域公共交通確保維持事業により運航を確保・維持する航空路の概要及び運航予定者

対象路線	運航予定者	区間距離	便数
宮古-多良間	沖縄県那覇市泉崎一丁目20番1号 カフーナ旭橋A街区3階 琉球エアークommuter株式会社 代表取締役社長 波平 進	86km	2往復/日
那覇-与那国	沖縄県那覇市泉崎一丁目20番1号 カフーナ旭橋A街区3階 琉球エアークommuter株式会社 代表取締役社長 波平 進	597km	2往復/日
那覇-久米島	沖縄県那覇市泉崎一丁目20番1号 カフーナ旭橋A街区3階 琉球エアークommuter株式会社 代表取締役社長 波平 進	169km	4~6往復/日
	沖縄県那覇市泉崎一丁目20番1号 カフーナ旭橋A街区3階 日本トランスオーシャン航空株式会社 代表取締役社長 野口 望	168km	1往復/日
那覇-北大東	沖縄県那覇市泉崎一丁目20番1号 カフーナ旭橋A街区3階 琉球エアークommuter株式会社 代表取締役社長 波平 進	417km	1往復/日
那覇-南大東	沖縄県那覇市泉崎一丁目20番1号 カフーナ旭橋A街区3階 琉球エアークommuter株式会社 代表取締役社長 波平 進	414km	2往復/日

4. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者

(単位:千円)

対象路線	収益見込額	費用見込額	損益見込額	費用負担割合
宮古-多良間路線	341,279	456,400	▲ 115,121	概ね 国3/6、県2/6、多良間村1/6
那覇-与那国	1,023,471	1,334,086	▲ 310,615	概ね 国3/6、県2/6、与那国町1/6
那覇-久米島	1,759,187	2,107,890	▲ 348,703	概ね 国3/6、県2/6、久米島町1/6
那覇-北大東	515,177	524,711	▲ 9,535	概ね 国3/6、県2/6、北大東村1/6
那覇-南大東	921,936	1,064,756	▲ 142,820	概ね 国3/6、県2/6、南大東村1/6
計	4,561,050	5,487,843	▲ 926,794	

(注)国負担は、損失見込額又は標準損失額のいずれか低い額の1/2相当

(注)県、多良間村、与那国町、久米島町、北大東村、南大東村 負担は、実績損失額から国負担額を差し引いた損失額の各2/3、1/3以内

5. 地域公共交通確保維持事業の改善等に関する事項

対象路線	収支改善のために採る措置
宮古－多良間 那覇－与那国 那覇－久米島 (RAC/JTA) 那覇－北大東 那覇－南大東	<p>(1)営業販売の促進・強化及び需要の開拓について 多様化するお客さまや旅行マーケットのニーズに加え、各離島のニーズに即したきめ細やかな販売施策を本州＝那覇・沖縄離島を運航するJALグループ航空各社とともに、立案・実施するとともに、沖縄本島・石垣島・宮古島に留まらず、多良間島・与那国島および久米島等、各離島の交流人口の拡大に寄与できる新規旅行商品の造成やJALグループの各種媒体を活用したプロモーション展開等の沖縄離島周遊旅行プロモーションの強化を図り、各地からの新規離島観光の需要喚起により、収入の極大化を図ることと致します。</p> <p>(2)費用の効率化 ・各種契約、取引内容において、内容・契約金額その他などの更なる検証・見直しを図り費用の効率化を図ります。 ・機体および部品メーカーとの技術検証を行いつつ、新たな部品修理方式の開拓等による部品交換頻度の削減、修理工数効率化等、整備費の抑制を図ります。</p> <p>(3)需給に応じた路線便数の適正化 需要動向に応じた適切な便数設定を行い、閑散期・便における運航変動費の抑制による費用効率化と高需要期・路線への供給対応による収入増を図り、収支の改善を図ります。</p> <p>(4)その他 安全運航を大前提に、安定的かつ高品質の運航を行い、事業計画の着実な実行と達成を図ります。</p>

6. 外客来訪促進計画との整合性

現行の外客来訪促進計画は、平成30年度の改正法施行により失効。
 令和2年度の観光ビジョン推進沖縄ブロック戦略会議において、法定協議会を設置し、外客来訪促進計画の策定に取り組むこととしている。